

# 野生動物学のすすめ

Introduction of Wildlife Science



2026  
4/11(土)  
4/12(日)

参加費 **無料**  
※入園料は必要です



京都市と京都大学の「野生動物保全に関する教育及び研究の連携」を記念した「野生動物学のすすめ」を京都市動物園で開催します。

両日イベント盛りだくさん!

講演会  
体験型学習プログラム  
ブース展示



詳しくは京都市動物園のホームページへ!

野生動物学のすすめ

検索



主催 京都市動物園,

共催 京都大学野生動物研究センター、きょうと☆いのちかがやく博物館(京都市動物園、京都府立植物園、京都水族館、京都市青少年科学センター)

協力 きょうと生物多様性センター、公益財団法人京都市緑化協会、公益財団法人日本モンキーセンター、認定NPO法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン、NPO法人市民ZOOネットワーク、NPO法人日本オランウータンリサーチセンター、NPO法人ビーリア(ポノボ)保護支援会、NPO法人カリンズ森林プロジェクト、フィールドソサイエティ、マハレ野生動物保護協会、京都大学人類進化論研究会

後援 科学研究費補助金(課題名「絶滅危惧種の見えていない姿や気持ちを見える化する教材開発」 代表:工藤宏美 京都市動物園 研究推進員)

# 野生動物学のすすめ 2026

## 京都市青少年科学センター 顕微鏡を使って 水中生物の世界を見てみよう

**場所** レクチャールーム  
**申込・定員** 随時受付  
一度に20名ずつ入場いただけます

※顕微鏡の数に限りがあるため参加者多数の場合はお待ちいただくことがあります。

噴水池から水を採取して、水中のプランクトンを顕微鏡で観察してみよう

## 京都市都市緑化協会 いのちの森クイズ

梅小路公園いのちの森の生きもの(動植物)から様々なクイズを出題します。

**場所** レクチャールーム前テント  
**申込・定員** 随時受付  
先着順50名

## 京都市動物園

### どうぶつブレスレットづくり

**場所** レクチャールーム前テント  
**申込・定員** 随時受付  
先着順50名

ミッションを通じて、園内の動物(チンパンジー、キリン、アジアゾウ、フンボルトペンギン)の体や動きをじっくり観察します。AR動画で答え合わせをしたら、クリア後にもらえるシールを使って、オリジナルの動物ブレスレットを作成しよう。



## 連携園館ワークショップ 午前10時から正午まで

## 京都府立植物園 身近な草花で オリジナルの絵葉書を作ろう

**場所** レクチャールーム  
**申込・定員** 随時受付  
先着順30名

サクラなど身近な花を台紙に貼り付けて、自分だけの絵葉書を完成させましょう

## きょうと生物多様性センター いきものつながりを学ぼう

**場所** レクチャールーム  
**申込・定員** 随時受付 先着順50名

生態系ピラミッドのコップタワーや食物連鎖が学べるカードゲームで、遊びながらいきものつながりを学ぼう

## 京都水族館

### オイカワ婚姻色の葉を作ろう

**場所** レクチャールーム  
**申込・定員** 随時受付  
先着順100名

京都水族館の淡水魚がやってくる！京都でなじみのある淡水魚について“婚姻色”などの特徴を飼育スタッフが解説します。

## 4園館連携10周年記念シンポジウム

### いきものでつながった10年と これからの未来を語る

午後1時30分から  
3時まで

**場所** レクチャールーム  
**申込・定員** 自由参加

※開始時刻までにレクチャールームにお越しください

2016年に京都市動物園、京都府立植物園、京都水族館、京都市青少年科学センターは、「きょうと☆いのちかがやく博物館」として連携協定を締結しました今年には連携のスタートから10年になります。この記念すべき年に、次の10年に向けて連携の仲間が一堂に集まり、新たな活動の可能性を会場みなさんと一緒に考えたいと思います。

## シンポジスト(「きょうと☆いのちかがやく博物館」提携園館・団体)

- 京都市動物園 田中 正之(副園長/生き物・学び・研究センター長)
- 京都府立植物園 平塚 健一(技術課長)
- 京都水族館 河崎 誠記(副館長)
- 京都市青少年科学センター 中井 祥平(展示課長)
- きょうと生物多様性センター 重原 奈津子(チーフコーディネーター)
- 公益財団法人 京都市都市緑化協会 百生 太亮(企画総務課)

## ファシリテーター(進行役)

川上 雅弘(京都産業大学生命科学部産業生命科学科・准教授)

## 出展団体の活動紹介

12日 (日)

## 野生動物保全の現場に関わる人 から話を聞いてみよう

午前9時から  
10時30分まで

**場所** レクチャールーム **申込・定員** 自由参加  
定員50名

「野生動物学のすすめ」に出展している各団体(NPO等)がリレー方式で日々の活動を紹介していきます。

**場所** レクチャールーム  
**申込・定員** 自由参加

## ワークショップ

## 夜の森のどうぶつ探偵2026 午前11時から正午まで

動物の痕跡から、動物を推理してみよう。身近な京都の森に暮らす動物について楽しく学んでいただけます。



## 講演会

### 「平和に暮らしたい！でも難しい？ 動物たちのいざこざとその解決」

午後1時分から  
3時30分まで



講演者 山本 真也氏  
京都大学・教授

講演1「動物から学ぶ平和社会:寛容なボノボ、協力するチンパンジー、そしてゾウのいざこざ解決法」世界各地で戦争や紛争の悲劇が繰り返されています。同時に、人間は見ず知らずの人を助け、協力しあうこともできる稀有な存在です。このような「ヒトらしさ」はどのように生まれたのでしょうか？私たちは、動物たちとの比較研究を通して、このようなヒトの特性を進化的に理解し、どうすればよりよい社会が実現できるのかをかんがえています。寛容で情に厚いボノボ・集団で協力するチンパンジー。そして、喧嘩を仲裁するゾウ。動物たちの行動を通して、私たち人間の社会を見つめなおすきっかけになると幸いです。



講演者 前田 玉青氏  
総合研究大学院大学  
日本学術振興会特別研究員(PD)

講演2「群れの中でも、群れの外でも:野生ウマが平和を保つ仕組み」野生で暮らすウマたちは一見すると一日中草を喰み、好きな時に寝て、とても平和に過ごしているように見えます。しかし、その平和を保つために、ウマたちは気付くづらい工夫を重ねていると考えられています。同じ群れの仲間だけでなく、異なる群れとも争いを避ける、彼らなりの工夫とは？本講演ではそんなウマの社会について紹介したいと思います。



**場所** レクチャールーム  
**申込・定員** 自由参加  
定員50名